

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

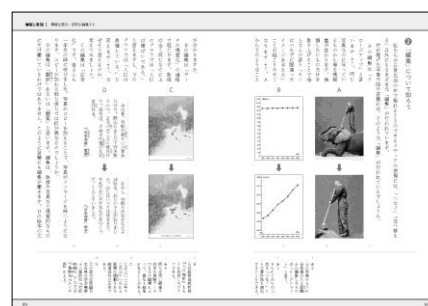
受理番号	学校	教科	種目	学年
26-62	中学校	国語	国語	2年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
11 学図	828	中学校 国語 2		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法・学校教育法・学習指導要領に示された目標及び内容にのっとり、自他と国内外の諸問題を主体的にとらえ、さまざまな仲間と諸問題を共に解決していくことの成果と意義をさまざまな言語活動を通して実感し、こうした実感に基づく言葉とそれを支える心を身につける教科書を目指して、特に下記の点に留意して編修しました。

① 21世紀に必要な国語学力・読解力・批評力・思考力の養成

従来の国語教育の成果を受けて国語の基礎学力を養成し、その力を、言語テキストにとどまらない多様なテキストの読解力、テキストから独立した批評力・思考力に発展させるために、読者反応論やメディアリテラシーについての国内外の研究成果を全面的に採用した教科書作りを行いました。

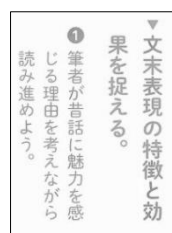


② 主体的・意欲的な学習を可能にする教科書作り

「生きる力」の養成という大きな目標を達成するために、学習者の主体的意欲や問題意識を喚起する教材開発、図・絵・写真などを活用して視覚情報と言語情報との関連を深く追究させるような教材開発、学習者の発達段階に応じて教材や活動の選択や再構成が可能な教材開発を行いました。

③ 学習目標や到達段階の明確化と学習内容の段階的な発展

学習者が学ぶ意義や目標を明確に意識できるように、教材冒頭に学習目標を明示しました。とりわけ、学習指導要領の重要な目標となっている読解力を養成するための教材については、学習後その成果を確認できるようにし、着実な前進と達成感を実感できるように留意しました。また、学習内容の段階的な発展を目指して、読解力を養成する教材を構成し、単元初めの教材には脚問を設定しました。



④ 学習活動の個性的な広がりや深まりを保障する

学習者に応じてより適切な学習活動が可能となるように、教材や活動の選択・再構成が可能な工夫を随所で行いました。各単元には選択教材を設け、それを明示しました。

⑤ 学習活動の交流と共有、それらを通じた学習成果の定着と発展を目指して

個性的な学習者相互の話し合いや読み合いによる学習効果に着目する読者反応論の成果を採用し、交流と共有を通じて個々の学習者がより豊かな言語能力と思考力を獲得すること目指し、併せて、学習者相互の豊かな人間関係を形成することも期待しました。

⑥ 国語科教材として価値の高い教材や日本の伝統文化を継承し発展させることに資する教材の調和のある精選と配列

日本語の表現として優れていて教育的価値が高い教材、古典や近代文学などを初めとする自国の伝統や文化の継承と発展に資する教材を、国際化が進む21世紀を生きる学習者に求められる資質や能力の養成に生かすという観点から、精選し配列しました。



2. 編修の基本方針

教育基本法 第二条

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

- 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。〈豊かな情操と道徳心〉
- 二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。〈自主自律〉〈職業及び生活との関連〉
- 三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。〈正義と平等、公共の精神〉
- 四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。〈生命尊重〉
- 五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。〈伝統文化の尊重〉〈郷土愛〉〈国際社会の平和〉

① 21世紀に必要な国語学力・読解力・批評力・思考力の養成

総則に示された教育基本法の精神と目標を正面から受け止めて基本方針に取り込みました。

② 主体的・意欲的な学習を可能にする教科書作り

総則の根底にある教育基本法の精神と目標を正面から受け止めて基本方針に取り込みました。

③ 学習目標や到達段階の明確化と学習内容の段階的な発展

総則に示された教育基本法の目標を着実に実現するために、学習目標の確認と個別学習者に応じた学習成果の確認を必須と考え、それを明示しました。また、学習内容の段階的な発展を目指して、読解力を養成する教材を構成しました。

④ 学習活動の個性的な広がりや深まりを保証する

教育基本法の目標とそれに応じた国語科学習指導要領の精神に応じて、読者反応理論を全面的に採用し、国際社会で求められている読解力・批評力・思考力の養成に資するような教科書作りを目指しました。


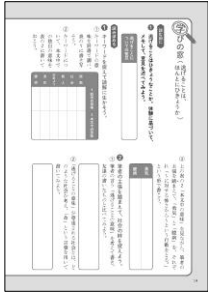
⑤ 学習活動の交流と共有、それらを通じた学習成果の定着と発展を目指す

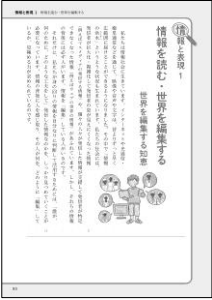





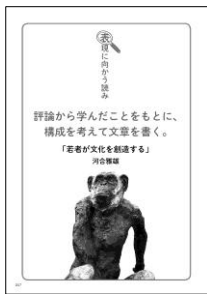
教育基本法の目標とそれに基づく国語科学習指導要領の精神に応じて、読者反応理論を全面的に採用し、国際社会で求められている読解力・批評力・思考力の養成に資するために、読者反応論が言語能力獲得のために必須の活動とする、多様な読解結果の交流や交流を通じた結果の共有を実現と、前記交流を通じて、国際社会で原典とされる個人の価値の尊重、相互敬愛の精神、すべての差別に抗する平等の精神、異文化・自文化共に尊重し相互共和を求めていく精神を育むことを目標としました。




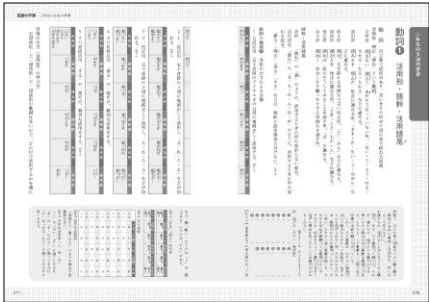
⑥ 国語科教材として価値の高い教材や日本の伝統文化を継承し発展させることに資する教材の、調和のある精選と配列を目指す

教育基本法の目標とそれに基づく国語科学習指導要領の精神に応じて、古典・近代の教材を現代の教材とその読解に資するように精選し、歴史的な観点を含めた読解力の養成に資するように配列しました。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
第1単元 絆—仲間と共に 昔話（随想） 逃げることはほんとに… （説明・評論） 選択 吟味された言葉（随想） 発見する読み1 活動を考える1 話す聞く1 語を見抜く1 文法の学習1	①身近な人間関係から自国の社会・文化を経て、国際関係に至るまでの、現代を構成する幅広い対象について、系統的に取り扱うことのできるテーマ別単元構成を採用した。（第一号） ②読者反応論に基づいて、学習者間の交流と問題意識の共有・深化を促進し、その過程で、自他の心身を豊かに育み道徳心を涵養できるよう留意した。（第一号） ③職場体験を題材にとったプレゼンテーションの方法を学ぶことにより、勤労を重んずる態度を養うことを企図した。（第二号） 〈自主自律〉〈職業及び生活との関連〉	①単元全体 ②「学びの窓」全部 ③「話す聞く1」他  P24  P14

<p>第2単元 生命—命の交差</p> <p>サーカスの馬 (小説) クリスマスの仕事 (小説) 短歌・短歌十五首 地下水 (詩) 選択 父のようにはなりたくない (小説) 活動を考える 2 書く 1 語を見抜く 2 文法の学習 2 情報と表現 1</p>	<p>①多くの中の一つとしての人間の生命について考察する単元を設定し、共生や調和を追究する活動を促進しようとし、その活動を通じてすべての生命を尊重する姿勢を身につけさせようとした。(第四号) 〈生命尊重〉</p> <p>②個性や創造性にあふれた教材に多数触れさせることによって、それらを尊重し進んで身につけて自律した生活人・職業人を目指そうとする態度と意欲を喚起しようとした。(第二号) 〈自主自律〉〈職業及び生活との関連〉</p> <p>③情報のとらえ方を学ぶ教材を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第三号) 〈正義と平等、公共の精神〉</p>	<p>①単元全体 「短歌」他 ②「クリスマスの仕事」他</p>   <p>P60</p> <p>P85</p>
<p>読書 1</p> <p>坊っちゃん (近代小説) 参考 孫が読む漱石 (説明・評論)</p>	<p>○明治時代の文豪の作品に触れ、また、参考資料をもとに、考察を深める体験により、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うことを目指した。(第一号) 〈豊かな情操と道徳心〉</p>	<p>○「坊っちゃん」 「孫が読む漱石」 てびき</p>  <p>P101</p>
<p>第3単元 群像—発見と行動</p> <p>種をまく人 (小説) 走れメロス (小説) 選択 花いちもんめ (戯曲) 発見する読み 2 活動を考える 3 話す聞く 2 語を見抜く 3 文法の学習 3</p>	<p>①自他の関係から国際関係に至るまでのさまざまなレベルの社会関係について、系統的に取り扱うことのできるテーマ別単元構成を採用し、平等・共生・公共の理念を大切に社会の形成を目指す主体の育成に寄与しようとした。(第三号) 〈正義と平等、公共の精神〉</p> <p>②さまざまな戦いを通して描かれる人間の姿に、作品を通して触れさせることによって、生命を尊重し、平和について考える機会を提示した。(第四・五号) 〈生命尊重〉〈国際社会の平和〉</p>	<p>①単元全体 ②「花いちもんめ」他</p>   <p>P134</p> <p>P154</p>
<p>表現に向かう読み</p> <p>若者が文化を創造する (説明・評論)</p>	<p>①幅広い知識と教養を身につけ、真理を求め、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことを目指して、文化の創造について考察を深める文章に触れ、その姿勢に学んで自ら表現する活動を設定した。(第一・三号) 〈豊かな情操と道徳心〉〈正義と平等、公共の精神〉</p> <p>②猿の生態から、人間の文化へと思考を進めることにより、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第四号) 〈生命尊重〉</p>	<p>○単元全体</p>   <p>P 171</p> <p>P 167</p>

<p>第4単元 伝統—時を超えて</p> <p>言葉の力 (古典解説) 平家物語 (古文) 徒然草 (古文) 論語 (漢文) 古典芸能に見られる… 活動を考える 4 書く 2 語を見抜く 4 文法の学習 4 相手や場面</p>	<p>①古典教材などを通じ、自国の独自性や個性が国際交流の中で生まれてきた歴史に触れさせることによって、平和と国際協調の枠組みの中で、伝統文化を尊重するとともに郷土愛が育まれるよう留意した。(第五号) 〈伝統文化の尊重〉〈郷土愛〉</p> <p>②古典のルールを学び、興味関心を深めるためのコラムを設定し、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操を培うことを目指した。(第一号) 〈豊かな情操と道徳心〉</p>	<p>①単元全体 ②「絵巻に見られる古典解釈」他</p>  <p>P198</p> <p>P202・203</p>
<p>第5単元 世界—状況の中で</p> <p>目撃者の眼 (随想) 挨拶 (詩) アラスカとの出会い (随想) 選択 プロセスの建築 (説明・評論) 発見する読み 3 語を見抜く 5 文法の学習 5 情報と表現 2</p>	<p>①自己形成に欠かすことのできないさまざまな出会いにまつわる文章を読み、自己と他、自己と社会について考えることから、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことを目指した。(第三号) 〈正義と平等、公共の精神〉</p> <p>②写真と詩という異なる手段で描き出された戦争の断片に触れることによって、真理を求める態度とともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを企図した。(第一・五号) 〈豊かな情操と道徳心〉〈国際社会の平和〉</p>	<p>①単元全体 「アラスカとの出会い」他 ②「目撃者の眼」他</p>  <p>P224</p> <p>P220</p>
<p>読書 2</p> <p>宇宙が叫ぶ 過去を超える回想の力 (随想) 一井上靖・歴史小説の世界 (孔子・利休の死)</p>	<p>①社会に大きな影響を与えた人物の姿を切り取った文章に触れ、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことを目指した。(第二号) 〈自主自律〉〈職業及び生活との関連〉</p> <p>②伝統と文化を尊重する姿勢を育むために、歴史小説にふれ、読書体験を広げることを企図した。(第五号) 〈伝統文化の尊重〉〈郷土愛〉</p>	<p>①単元全体 ②「過去を超える回想の力」他</p>  <p>P262</p>
<p>言語の学習</p>	<p>○言語に関する知識を、既習教材を中心とした例文から系統的に学ぶことを企図した資料を活用することにより、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うとともに、我が国の伝統と文化を尊重し、他国の文化に思いを致し、国際平和に寄与する態度を養うことを目指した。(第一・五号) 〈豊かな情操と道徳心〉〈伝統文化の尊重〉〈郷土愛〉</p>	<p>○「2年生の文法」他</p>  <p>P276・277</p>

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条、学校教育法第二十一条に示された目標を達成するため、下記の点について特に留意して編修しました。

- 国際化する世界において、国家・社会を形成する主体として自立的に生きるための基本的な資質を養うために、学習者の発達段階を了慮しつつ、国際関係・日本の社会や国家・それらの歴史について深く掘り下げた教材を多数掲載するよう留意しました。
- 国際化する世界において、自国に対する郷土愛と国際協調の精神を適切に育むために、学習者の発達段階を考慮しつつ、自国の伝統文化やそれを生み出してきた国際的な文化交流の歴史について深く掘り下げた教材、とりわけ古典教材・明治大正などの近代文学教材を多数掲載するよう留意しました。
- 社会の基礎となる家族や家庭の役割を重視し、その変貌を踏まえながら、学習者の発達段階を考慮しつつ、家族関係の過去と現在に焦点を当てた教材を多数掲載するよう留意しました。
- 読書活動を重視して、読書教材を増やし、読書活動についての評価を行うことができるよう工夫するとともに、読書教材以外の読解活動が読書活動に発展するよう留意しました。
- 文学を初めとする芸術に対する理解力と批評力を養うために、学習者の発達段階を了慮しつつ、文学教材や芸術にかかわる教材を多数掲載するよう留意しました。
- 進路選択や職業選択に資するように、学習者の発達段階を考慮しつつ、産業や労働・職業についての視点や展望を与える教材を多数掲載するよう留意しました。

編 修 趣 意 書
(学習指導要領との対照表・配当授業時数)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-62	中学校	国 語	国 語	2 年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
11 学図	828	中学校 国語 2		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 生きる力を育む

生徒の「生きる力」を育むために、読者反応論に基づいた交流や共有を軸とする言語活動を行わせることを基本とし、こうした活動の中で基礎的な言語能力の習得を図ると共に、習得した言語能力を活用することによって生徒の思考力・判断力・表現力を高めようと考えました。(全単元・全教材)

② 交流を軸に

交流や共有を軸とする言語活動を通じて、自他を尊重し社会の平和と発展・環境の保全・伝統文化の継承に貢献するための基盤となる豊かな心、国際社会を担う主体にふさわしい心を育むことを目指しました。(全単元・全教材)

③ 思考力・想像力の段階的発展

交流や共有を軸とする言語活動を通じて、思考力や想像力を段階的に発展させていくために、かつ、活用活動が一貫して各段階の学習活動の基本と底流をなすものであるよう、教材配置と課題を工夫しました。(読解教材・学びの窓) また、学習活動を通して培われた思考力・想像力を批評力にまで高めていく設定を行いました。(批評)



④ 言語感覚を磨く

交流や共有を軸とする言語活動を通じて、言語感覚を磨いていくために、てびきの随所で語彙選択や文体選択に着目しその意図や効果をとらえる設定を行いました。(学びの窓) また、こうした活動を側面から支えるために、読解教材の脚注に注意すべき語句を多数提示し、語句語彙について体系的に学習するためのコラムを設定しました。(脚注、巻末)

⑤ 自覚的な読解活動の実現を目指して

読解力の伸長を側面から促進するねらいで、自分の読解活動を振り返り、自覚的な読解活動を実現するためのコラムを設定しました。(発見する読み)

⑥ 読解と表現をつなぐ、単元を貫く言語活動の設定

単元内の読むこと教材と表現の教材を有機的につなぐ導入教材として、表現のコラムを新設し、「単元を貫く言語活動」を構成しやすいようにしました。(活動を考える)
また、単元を新設し、「貫く活動」の典型を提示しました。(表現に向かう読み)



⑦ 伝え合う能力の育成

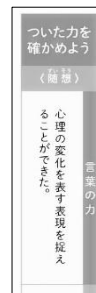
表現単元の中でも、交流や共有を軸とする言語活動を基本と位置づけ、話し合い・読み合い・相互評価などの活動を積極的に取り入れて、適切に表現し伝え合う能力の育成を図り、こうした活動を通じて思考力や判断力をも育成していく設定を行いました。(全表現単元)

⑧ 非言語表現の読解と情報活用能力の育成

表現単元の中に、言語表現と非言語表現の差異や同一性に目を向け、両者の関連を追究するための単元を設定し、情報化社会にあふれる非言語情報・複合情報を分析的に読解し評価し批評する力を育成し、併せて、情報倫理に従った適切な情報発信ができる力を育成しようと考えました。(情報と表現)

⑨古典資料の充実

言語事項では、伝統文化の重視を受けて質量共に拡充した古典単元の学習を側面から支えるために、古典文法や古典語彙に関するコラムや古典文学全体を俯瞰するためのコラムを設定しました。(巻末や折り込み、古典読書)



⑩つけたい力とついた力を明確に

到達目標を明確に意識した言語活動を行わせるために、各教材の初めに学習目標を明示しました。(読解・表現本教材) とりわけ読解力を養成するための教材では、学習成果を確認するための設定も行いました。(ついた力の確認)

⑪声に出して読む

言語活動や思考活動を活性化し、言語感覚を練磨し、語彙を豊かにするために有効であるとの判断から、扉に音朗読・暗唱用の詩を提示しました。(扉)



2. 対照表

単元	図書の構成・内容 教材	配当 時数	学習指導要領の内容					箇所
			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	伝統的な言語文化他	内容の取扱い	
導入	おたまじゃくし……(導入詩)	1	(1)イ		(1)ウエ(2)ア	(1)イ(ウ)イ	1(3)(5)・3(1)(2)	P①
	確かまで自由な言葉の使い手に		(1)ウエ		(1)ア	(1)イ(ウ)イ	1(3)(5)・3(1)(2)	P⑩
1 絆 仲間と共に	わたしはえのぐを……(扉詩)	※			(2)ア	(1)イ(ウ)イ	1(5)・2(1)・3(1)(2)	P1
	昔話	4	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)・ウ(ウ)イ	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P2
	逃げることはほんとは……	5	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)・ウ(ウ)イ	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P8
	選択 吟味された言葉	1		(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P16
	発見する読み1 (幸福な…)	2	(1)ウ(2)ア		(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)	1(1)(2)(5)(6)・3(1)(2)(3)	P20
	活動を考える1	1	(1)ウア	(1)ア	(1)ウエ	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(1)(2)(3)(6)・3(1)(2)	P23
	話す・聞く1	3	(1)ア(ウ)ア・(2)ア イ	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(1)(2)(3)(6)・3(1)(2)	P24
	語を見抜く1	1				(1)ウ(ウ)イ	2(1)ア・3(2)ア(ウ)イ	P30
	文法の学習1	1				(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	2(1)・3(2)ア(ウ)イ	P34
2 生命 命の交差	曲折(扉詩)	※			(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)・2(1)・3(1)(2)	P35
	サーカスの馬	5	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)・ウ(ウ)イ	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P36
	クリスマスの仕事	4	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)・ウ(ウ)イ	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P46
	短歌(解説)	3			(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P56
	短歌十五首		(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P58
	地下水	2		(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P61
	選択 父のように…	1	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)イ	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P64
	*活動を考える2 (時数は「書く1」を含む)	—	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・3(1)(2)(3)	P71
	書く1	4	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)ア	(1)ア(ウ)ア・(2)ア		1(1)(2)(4)(6)・3(1)(2)	P73
	語を見抜く2	1				(1)ウ(ウ)イ	2(1)ア・3(2)ア(ウ)イ	P80
	文法の学習2	1				(1)イ(ウ)イ(ウ)イ(ウ)	2(1)・3(2)ア(ウ)イ	P84

	情報と表現 1	4	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)アイ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1・3(1)(2)	P85
読書 1	坊っちゃん・孫が読んだ漱石	5	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)アイ	(1)イ(イ)ウ(ウ) (ウ)・ウ ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(4)	P91・P98
3 群像 発見と行動	私たちは火花のように(扇詩)	※			(2)ア	(1)イ(ウ)ウ	1(5)・2(1)・3 (1)(2)	P103
	種をまく人	1	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ	(1)イ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P104
	走れメロス	5	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)アイ	(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(ウ)ウ・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P118
	選択 花いちもんめ	1	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P134
	発見する読み2 (海のハンカチ)	2	(1)アイマ(2)ア	(1)ア	(1)アイマ・(2)アイ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(1)(2)(5)(6)・ 3(1)(2)(3)	P148
	*活動を考える3 (時数は「話す聞く2」を含む)	—	(1)アイマ・(2)ア	(1)ア	(1)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(1)(2)(5)(6)・ 3(1)(2)(3)	P154
	話す・聞く2	5	(1)アイマ・(2)ア イ	(1)アイマ・(2)イ	(2)ウ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(1)(2)(3)(6)・ 3(1)(2)	P155
	語を見抜く3	1				(1)ウ(ウ)ウ	2(1)ア・3(2)アイマウ	P162
	文法の学習3	1				(1)イ(ウ)・ウ(ウ)ウ	2(1)・3(2)アイマウ	P166
表現	若者が文化を創造する	4		(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)イ	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P167
4 伝統 時の中で	少年(扇詩)	※			(2)ア	(1)イ(ウ)ウ	1(5)・2(1)・3 (1)(2)	P177
	言葉の力(古典解説)	1	(1)アイマ・(2)イ		(1)アイマ	(1)ア(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P178
	平家物語	5	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)ア	(1)ア(ウ)ウ・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P180
	徒然草	4	(1)アイマ・(2)イ		(1)アイマ・(2)イ	(1)ア(ウ)ウ・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P191
	論語	4	(1)アイマ・(2)イ		(1)アイマ・(2)イ	(1)ア(ウ)ウ・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P198
	*古典芸能に見られる古典 解釈(古典読書)	2			(1)アイマ・(2)アイ	(1)ア(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P202
	*活動を考える4 (時数は「書く2」を含む)	—	(1)ア	(1)ア	(1)ア	(1)ア(ウ)・イ(ウ) (ウ)ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)(5)	P204
	書く2	3	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)イ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(1)(2)(4)(6)・ 3(1)(2)	P205
	語を見抜く4	1				(1)ウ(ウ)ウ	2(1)ア・3(2)アイマウ	P209
	文法の学習4	1				(1)イ(ウ)・ウ(ウ)ウ	2(1)・3(2)アイマウ	P213
話し言葉・書き言葉 他	2				(1)イ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(2)(5)(6)・2 (1)	P214	
5 世界 状況の中で	湖水(扇詩)	※			(2)ア	(1)イ(ウ)ウ	1(5)・2(1)・3 (1)(2)	P219
	目撃者の眼・挨拶	3	(1)アイマ・(2)ア		(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P220・P224
	アラスカとの出会い	3	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P229
	選択 プロセスの建築	1	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)イ	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P239
	発見する読み3	1	(1)アイマ・(2)ア	(1)ア	(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P245
	語を見抜く5	1				(1)ウ(ウ)ウ	2(1)ア・3(2)アイマウ	P248
	文法の学習5	1				(1)イ(ウ)・ウ(ウ)ウ	2(1)・3(2)アイマウ	P252
情報と表現2	3	(1)アイマ・(2)ア	(1)アイマ・(2)イ	(1)アイマ・(2)アイ	(1)イ(イ)ウ(ウ)	1・3(1)(2)	P253	
読書 2	宇宙が叫ぶ	1	(1)アイマ・(2)ア		(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P262
	井上靖・歴史小説	2	(1)アイマ・(2)ア		(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)ウ	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P268
	読書案内	随時			(1)アイマ・(2)ア	(1)イ(イ)ウ(ウ)・ウ(ウ)	1(5)(6)・2(1)・ 3(1)(2)(3)	P275
言語の学習	二年生の文法の学習	3				(1)イ(ウ)ウ	2(1)・3(2)アイマウ	P276
	二年生の語句・語彙の学習	2				(1)イ(イ)ウ	2(1)・3(2)アイマウ	P302
	文語文法	0.5				(1)イ(ウ)	2(1)・3(2)アイマウ	P306




	今に伝わる注意したい古語	0.5				(1)(1)	2(1)・3(2)	P309
	注意すべき筆順	通年				(1)(7)(1)	2(1)(7)・3(2)(7)	P314
	常用漢字表	通年				(1)(7)(1)	2(1)(7)・3(2)(7)	P315
	常用漢字表の付表	通年				(1)(7)(1)	2(1)(7)・3(2)(7)	P330
	日本文学の流れ	通年			(2)ア		2(1)(7)・3(2)(7)カカキ	P332
折込	口語文語活用対照表	随時				(1)エ	2(1)(7)・3(2)(7)イキ	P(1)

・※ は、音読・暗唱用の単元扉詩。

・時間配当は、総時数 140 時間のうち「書写」に 20 時間、「国語」に 120 時間を配当。そのうち「話すこと・聞くこと」に 18 時間程度、「書くこと」に 31 時間程度を当てた。

編修趣意書
(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
26-62	中学校	国語	国語	2年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
11 学図	828	中学校 国語 2		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項
306～ 308	古典に親しむために一古典文法 ③活用形 ④主な助動詞 ⑤主な助詞 ⑥係り結び <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	2	【ア 伝統的な言語文化に関する事項】 (ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。 【イ 言語の特徴やきまりに関する事項】 (エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。
309～ 313	今に伝わる注意したい古語 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	2	【ア 伝統的な言語文化に関する事項】 (ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。 【イ 言語の特徴やきまりに関する事項】 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語幹を磨き語彙を豊かにすること (エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。
巻末折込	口語文語活用対照表 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>	2	【ア 伝統的な言語文化に関する事項】 (ア) 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。 【イ 言語の特徴やきまりに関する事項】 (エ) 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意すること。

〔発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 13 ページ〕

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容